



センサー	形名	グリル形状	グリル色調	電源仕様	機能	電気式シャッター付
湿度センサー	V-08PHSD ₈	角形格子グリル	ホワイト	速結端子	停止タイプ	●
	V-12PHSD ₈	角形格子グリル	ホワイト	速結端子		
	V-08PHLD ₈	角形格子グリル	ホワイト	速結端子	24時間換気タイプ	—
	V-12PHLD ₈	角形格子グリル	ホワイト	速結端子		

センサー	形名	グリル形状	グリル色調	電源仕様	機能	電気式シャッター付
温度センサー	V-08PTSD ₈	角形格子グリル	ホワイト	速結端子	停止タイプ	●
	V-12PTSD ₈	角形格子グリル	ホワイト	速結端子		
	V-08PTLD ₈	角形格子グリル	ホワイト	速結端子	24時間換気タイプ	—
	V-12PTLD ₈	角形格子グリル	ホワイト	速結端子		
雑ガスセンサー	V-08PNSD ₈	角形格子グリル	ホワイト	速結端子	停止タイプ	●
	V-12PNSD ₈	角形格子グリル	ホワイト	速結端子		
	V-12PNLD ₈	角形格子グリル	ホワイト	速結端子	24時間換気タイプ	—

形名によって取扱いが異なりますので、予めご使用の形名をご確認ください。
形名表示位置は「3.各部のなまえ」を参照ください。

取扱説明書

お客様用

お客様自身では据付けしないでください。(安全や機能の確保ができません)

- 正しく安全にお使いいただくためにこの説明書を必ずお読みください。なお、ご使用前に「1.安全のために必ず守ること」を確認して、正しく安全にお使いください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
- この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

1.安全のために必ず守ること

- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

	警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
	禁止	●ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切をしない 爆発・引火の原因。
	水ぬれ禁止	●製品に直接水やお湯、かび取り剤などをかけない ショート・感電の原因。
	分解禁止	●改造や工具を必要とする分解はしない 火災・感電・けがの原因。 分解・修理は修理技術者のいる販売店または当社のお客さまご相談窓口にご相談ください。
	ぬれ手禁止	●濡れた手で電源プラグを抜き差ししない 感電・けがの原因。
	指示に従う	●交流100Vを使用する 火災・感電の原因。 ●異常・故障時には、直ちに使用を中止する 発煙・発火・感電・けがの原因。 〈異常・故障例〉 本説明書末尾の「愛情点検」をご参照ください。 ●お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る 感電・けがの原因。

注意

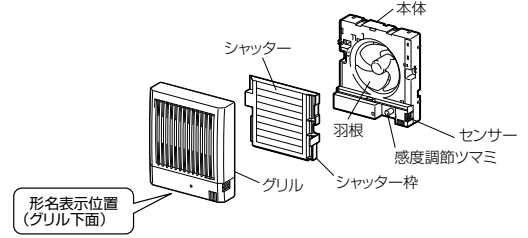
誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの

	禁止	●本体に異常な振動が発生した場合は使用しない 本体・部品の落下によるけがの原因。
	接触禁止	●高温(40℃以上)になる場所や直接炎があたり、油煙の多い場所や有機溶剤のかかる場所では使用しない 火災の原因。
	接触禁止	●運転中は羽根の中に指や物を入れない けがの原因。
	指示に従う	●電気工事は必ず電気工事に依頼する 感電の原因。 ●お手入れの際は手袋を着用する 着用しないとけがの原因。 ●お手入れの後の部品の据付けは確実に 落下によるけがの原因。 ●長期間で使用にならないときは、分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。

2.ご使用にあたってのお願い

- 換気扇設置場所で中性以外の洗剤や消毒剤などを頻繁に使用すると寿命が短くなる場合があります。
- お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください(中性洗剤をご使用ください)。シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザーなどの研磨材入りの洗剤、殺菌剤、消毒剤など
異常音の発生、変質、変色や故障の原因。

3.各部のなまえ



4.使用方法

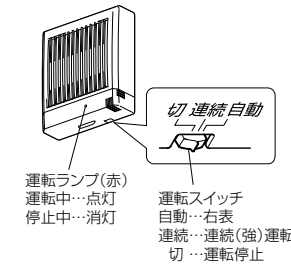
運転開始と停止(自動運転と連続運転の切替え)は、本体のスイッチで行います。また、運転開始や停止(強弱切替え)のタイミングは、本体の感度調節ツマミで変更します。

- 壁スイッチがある場合、壁スイッチは「入」、本体の運転スイッチは「自動」または「連続」でご使用ください。

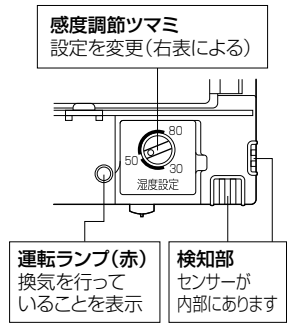
24時間換気タイプ

24時間換気用としてご使用されるときは、特別な場合(運転異常・点検・お手入れ)を除き本体の運転スイッチは「自動」でご使用ください。

操作部名称と機能



環境変化	運転状態	
	検知部が設定値よりも高くなったとき	検知部が設定値よりも低くなったとき
換気扇の動き	24時間換気タイプ 強運転	弱運転
	停止タイプ 運転	停止

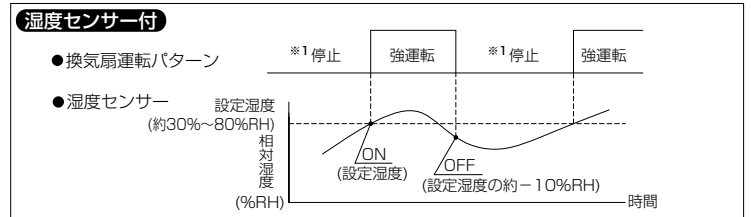


センサー	感度調節範囲(目安)	感度調節ツマミ部(出荷状態)
湿度	30%RH(低)~80%RH(高)	50%RH 湿度設定
温度	5℃~40℃	20℃ 温度設定
雑ガス	「高」…検知しやすくする 「低」…検知しにくくする	標準 感度設定

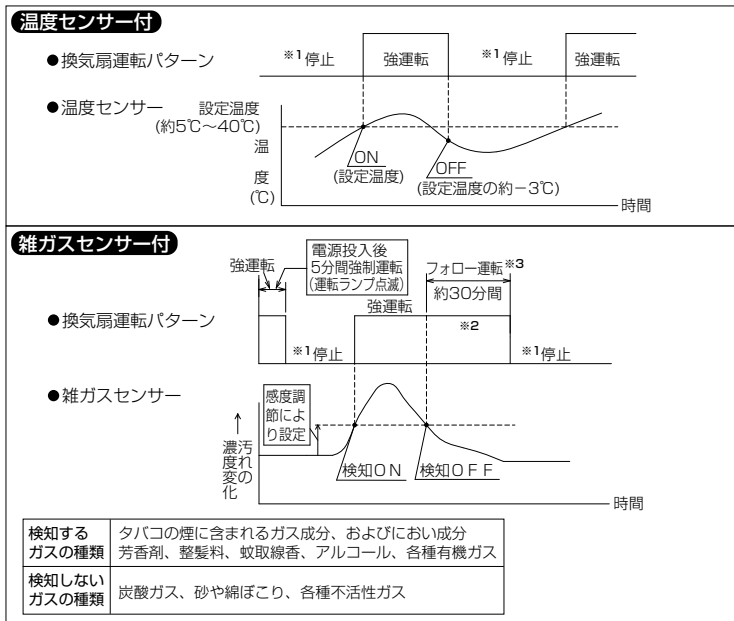
(図は湿度センサー付のグリルをはずした状態を示します)

- 感度調節ツマミで設定を変更する場合はグリルをはずしてください。グリルのはずしかたは5.お手入れを参照ください。
- 設定値は目安です。
- 調節後は必ずグリルを据付けてください。

■動作シーケンス(自動運転)



■動作シーケンス（自動運転） つづき



※1 24時間換気タイプは停止せずに弱運転します。
 ※2 24時間換気タイプは弱運転します。
 ※3 強制的に約30分間運転します。(運転時間の調節はできません)

故障ではありません

〈センサーは検知部の環境変化を検知しますので、室内の温湿度・検知ガス濃度と検知している温湿度・検知ガス濃度は異なる場合があります〉
 自動運転時、以下のような場合は検知しにくくなったり、一時的に誤検知することがありますが、故障ではありません。

<p>強運転しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●他の換気扇を運転したときや外風の吹きつけが強いとき ●エアコンや扇風機などの風が製品にあたる時 ●製品の周りに障害物があるとき 	<p>運転停止・弱運転しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●室内の湿度が設定よりも高いとき(夏季など) ●室内の湿度が設定よりも高いとき(雨天など) ●室内に検知するガスが発生し続ける時(線香、芳香剤など)
---	--

- 室内の湿度や温度、検知ガス濃度が急激に変化する場合は、検知しにくくなることや、検知(換気扇の運転動作切替え)が遅れることがあります。
- 冬季など、室内外の温度差が大きく検知しにくい場合は、感度調節ツマミで設定値や感度の調整を行ってご使用ください。
- 感度調節ツマミをお望みの設定に合わせてから検知部が安定するまで多少時間がかかります。使用する場所に応じて調節してください。
- 設定によっては羽根が突然回ることがありますので注意してください。
- 雑ガスセンサー付の場合、きれいな空気状態を記憶するため室内の空気をきれいにしてから運転スイッチを「自動」にしてください。

5.お手入れ

グリル・シャッター・羽根・検知部にほこりなどが付着しますと風量低下や異常音発生・検知不良の原因になります。約4か月に1度を目安に清掃してください。
 ●長い間ご使用の換気扇は、使用上支障がなくても安全のための点検(本説明書末尾(裏面)の「愛情点検」をご参照ください)をお願いします。

警告

お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る感電・けがの原因。

注意

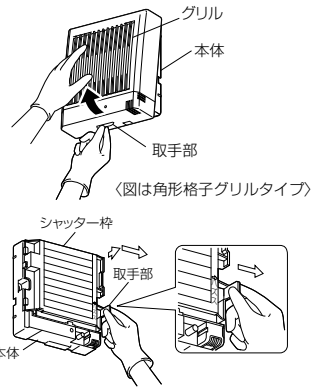
お手入れの際は手袋を着用する着用しないといけない原因。

お願い

- 洗剤などをご使用の場合は中性洗剤をご使用ください。
- お手入れの際、シャッターはシャッター枠からはずさないでください。また、シャッター・羽根・モーターの軸に無理な力をかけないでください。(シャッター開閉不良や異常音発生の原因)

1. 清掃部品のはずしかた

1. グリルの取手部を手前に引きながら斜めに持ち上げてはずす。
 ●本体からグリルをはずす際、グリル正面を支えながらはずしてください。(落下によるけがの原因)
2. シャッター枠の取手部を持ち、手前に引きながら横(シャッター枠刻印ハズス⇒の方向)にスライドさせて取りはずす。
 (電気式シャッター付のみ)

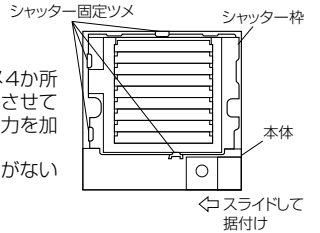


2. 清掃のしかた

1. グリルは中性洗剤を溶かしたぬるま湯(40℃以下)に浸して汚れを落としてからきれいな水で洗い、よく乾かす。
2. 羽根・本体・シャッター(枠)・検知部は中性洗剤を溶かしたぬるま湯(40℃以下)に浸した布で汚れをふき取った後、洗剤が残らないように乾いた布でよくふく。

3. お手入れ後の清掃部品の据付け

1. 据付けは取りはずしと逆の順序で行う。
 ●シャッター枠は、右図のシャッター固定ツマミ4か所に引掛かよう本体右側から左側へスライドさせて据付けてください。(シャッター中央部には力を加えないでください)
 ●据付け後、シャッター枠と本体との間に隙間がないかを確認してください。
2. 据付け後、次の確認をする。
 (1) グリル・シャッター枠が確実に据付けられていますか。
 (2) 異常な音が出ていませんか。
 必ず運転をして確認してください。



6.修理を依頼される前に

●次のような症状があれば点検してください。点検・処置をしても直らない場合、または下記以外の現象が生じた場合は、事故防止のため分電盤のブレーカーを切り、お買上げの販売店または、工事店にお申しつけください。

こんなとき	原因	点検・処置
壁スイッチを入れても羽根が回転しない、強運転しない	分電盤のブレーカーが切れていませんか	「入」にします
	本体の運転スイッチが「切」になっていませんか	「自動」または「連続」にします
	設定値が高くないですか	感度調節ツマミで設定値を調整します
	運転ランプが点滅(0.5秒間隔)し続ける場合は、センサー接続不良です	販売店または工事店へ連絡します
	タイマー付スイッチと組み合わせて使用していませんか	タイマー設定を無効にします
故障ではありません をご覧ください		
運転停止しない、弱運転しない	本体の運転スイッチが「連続」になっていませんか	「自動」にします
	設定値が低くないですか	感度調節ツマミで設定値を調整します
	24時間換気タイプは、運転が停止しません	正常です
	雑ガスセンサー付の自動運転は、電源投入後、約5分間強運転します	正常です
故障ではありません をご覧ください		
シャッターが開かない、シャッターが閉じない	シャッターにほこり・異物・水が付着していませんか	清掃します
	シャッターがシャッター枠やシャッター同士で引っ掛かっていますか	引っ掛かりを取り除きます
	電子式スイッチ(半導体制御による速調スイッチ・タイマー等)と組み合わせて使用していませんか	販売店または工事店へ連絡します
	シャッターやシャッター枠が確実に据付けられていますか	据付け直します
運転中に異常音や振動がする	本体・グリル・シャッターが確実に据付けられていますか	据付け直します
	羽根・グリル・シャッターにほこり・異物が付着していませんか	清掃します
運転ランプが点滅する(雑ガスセンサー付)	自動運転の場合、電源投入後約5分間(強制運転中)はゆっくり点滅(1秒間隔)します	正常です
焦げ臭いにおいがする	故障です運転を停止してください	販売店または工事店へ連絡します

●モーターの軸受は時間が経つにつれ、回転がなじんで音が変化することがありますが異常ではありません。

7.アフターサービス

■修理を依頼されるときは

- 修理料金は 技術料+部品代(+出張料)などで構成されています。
 - 技術料…故障した製品を正常に復するための料金です。
 - 部品代…修理に使用した部品代金です。
 - 出張料…製品のある場所へ技術員を派遣する料金です。

●ご連絡いただきたい内容

1. 品 名 三菱パイプ用ファン
2. 形 名 ○-○○○○
3. お買上げ日 年 月 日
4. 故障の状況 (できるだけ具体的に)
5. ご 住 所 (付近の目印なども)
6. お名前・電話番号・訪問希望日

■ご不明な点や修理に関するご相談は

- お買上げの販売店が下記の「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」にご相談ください。

■ご相談窓口・修理窓口のご案内 (住宅用換気送風機)

取扱い・修理のご相談は、まずお買上げの販売店・施工者・設備業者へ

- お買上げの販売店にご依頼できない場合 (転居や贈答品など)は、**各窓口**へお問い合わせください。

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて
三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報、下記のとおり、お取り扱いいたします。
1.お問い合わせ (ご依頼) いただいた修理・保守・工事および製品の取扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報、本日から3年以内にお客様の同意なく第三者へ提供することはありません。 (1)上記利用目的のために、弊社グループ会社、協力会社などに業務委託する場合、 (2)法令等の定める規定に基づく場合、 (3)個人情報の取扱いに関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

■ご相談窓口 住宅用換気送風機の購入相談・取扱い方法

●三菱電機換気送風機技術相談センター

フリーダイヤル **0120-726-471** (無料)
携帯電話・PHS対応
三菱電機株式会社 中津川製作所
〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

■ご相談対応

平日 (土・日・祝及び弊社休日以外)
9:00~12:00
13:00~17:00

■修理窓口 住宅用換気送風機の修理の問合せ・修理の依頼

●三菱電機修理受付センター

フリーダイヤル **0120-56-8634** (無料)
パソコン・スマートフォン **www.melco.jp**
2次元コードでも簡単にアクセスできます。

携帯電話・PHSの場合

TEL 0570-01-8634 (有料)

FAX 0570-03-8634 (有料)

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

●電話番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このパイプ用ファンの補修用性能部品を製造切取り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

8.仕 様

(電圧100V)

形 名	設 定	消費電力 (W)		風 量 (m³/h)		騒 音 (dB)		質 量 (kg)
		50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	
V-08PHSDa		4.6	5	75	85	24	26	0.7
	強	2.1	2.4	75	85	21	23.5	
V-08PHLDa	24時間換気 (弱)	1.3	1.4	45	47	16	16	0.62
	強	4.6	5	75	85	24	26	
V-08PTSDa		2.1	2.4	75	85	21	23.5	0.62
	24時間換気 (弱)	1.3	1.4	45	47	16	16	
V-08PTLDa		6	6.6	80	95	26	29.5	0.7
	24時間換気 (弱)	1.3	1.4	45	47	16	16	
V-08PNSDa		6.1	6.7	135	145	29	31	1.09
	強	3	3.3	135	145	28	30	
V-12PHLDb	24時間換気 (弱)	2.3	2.5	105	105	21	21	0.91
	強	6.1	6.7	135	145	29	31	
V-12PTSDb		3	3.3	135	145	28	30	0.91
	24時間換気 (弱)	2.3	2.5	105	105	21	21	
V-12PTLDb		6.4	7	135	145	29	31	1.09
	強	3.3	3.6	135	145	28	30	
V-12PNLDb	24時間換気 (弱)	2.6	2.8	105	105	21	21	0.91
	強	6.4	7	135	145	29	31	

*特性はJIS C 9603Iに基づく開放時の値です。



三菱パイプ用ファン

(居室・洗面所用)

センサー	形 名	グリル形状	グリル色調	電源仕様	機能	電気式シャッター付
湿度センサー	V-08PHSDa	角形格子グリル	ホワイト	速結端子	停止タイプ	●
	V-12PHSDa	角形格子グリル	ホワイト	速結端子		
	V-08PHLDb	角形格子グリル	ホワイト	速結端子	24時間換気タイプ	-
	V-12PHLDb	角形格子グリル	ホワイト	速結端子		

(居室用)

センサー	形 名	グリル形状	グリル色調	電源仕様	機能	電気式シャッター付
温度センサー	V-08PTSDa	角形格子グリル	ホワイト	速結端子	停止タイプ	●
	V-12PTSDa	角形格子グリル	ホワイト	速結端子		
	V-08PTLDb	角形格子グリル	ホワイト	速結端子	24時間換気タイプ	-
	V-12PTLDb	角形格子グリル	ホワイト	速結端子		
雑ガスセンサー	V-08PNSDa	角形格子グリル	ホワイト	速結端子	停止タイプ	●
	V-12PNSDa	角形格子グリル	ホワイト	速結端子		
	V-12PNLDb	角形格子グリル	ホワイト	速結端子	24時間換気タイプ	-

据付説明書

販売店・工事店様用

据付けを始める前に、誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を梱包外側の「警告」「注意」で説明しておりますので、この説明書とともによくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

据付け終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。

- 据付け、壁穴工事はお買上げの販売店・専門の工事店様が実施してください。(間違った据付け、工事は、故障や事故の原因になります)
- 電気工事は電気工事士の方が実施してください。
- 形名をよく確認し用途にあった場所に据付けてください。それ以外の用途には使用しないでください。(故障の原因になります)
- 形名によって据付け方法が異なりますので、予めご使用の形名をご確認ください。
- 直接屋外に排気する場合は、雨水浸入防止のためシステム部材 (屋外フードなど) を据付けてください。
- 雨水浸入防止のため外風の吹き付けの強い場所では風圧シャッター付深形フードを据付けることをおすすめします。
- 接続パイプは市販品の塩化ビニル管または鋼板管のいずれかをご用意ください。

センサー	形 名	適用パイプ	付属部品
湿度センサー	V-08PHSDa	塩化ビニル管	木ネジ2本
	V-08PHLDb		
温度センサー	V-08PTSDa	VP、VU (呼び径100mm)	鋼板管 (内径100mm)
	V-08PTLDb		
雑ガスセンサー	V-08PNSDa	塩化ビニル管	木ネジ2本
湿度センサー	V-12PHSDa		
	温度センサー	V-12PTSDa	VP、VU (呼び径150mm)
V-12PTLDb			
雑ガスセンサー	V-12PNSDa	塩化ビニル管	木ネジ2本
	V-12PNLDb		

1.安全のために必ず守ること

⇒梱包箱をご確認ください

2.据付前のお願い

- 高温 (40℃以上) になるところに据付けしないでください。(故障の原因になります)
- 塩害、温泉害の発生している場所には据付けしないでください。(故障の原因になります)
- 燃焼機器の排気口の近くには据付けしないでください。(燃焼機器から排出された排気ガスが含まれた外気が、強風のときなどに室内に侵入すると、異臭などの原因になります)
- 暖房器具の近くや急激な温度変化のある所には据付けしないでください。(誤動作の原因になります)
- システム部材 (屋外フードなど) は壁厚にあったものを選んでください。(壁厚により据付けられないものがあります)
- 天井・壁板は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものを据付けてください。
- アルミフレキシブルダクトへの据付けはしないでください。(振動の原因になります)
- 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。

3.各部のなまえと外形寸法図

●各部のなまえ ⇒裏面の取扱説明書の「3.各部のなまえ」をご確認ください

●外形寸法図 ⇒梱包箱をご確認ください

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

【本体への表示内容】
※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた内容をお知らせしています。
(設計上の標準使用期間とは)

※運転時間や湿度など、標準的な使用条件 (右表による) に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができきる標準的な期間です。
※本製品の設計上の標準使用期間は、製造年を起期とし、JIS C 9921-2に基づいて算出したもので、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保障するものではありません。
●本製品の取扱説明書記載の設置場所の想定時間を用いて設計上の標準使用期間を算出しています。
●「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生じる劣化をいいます。

【製造年】 本体に西暦4ケタで表示してあります
【設計上の標準使用期間】 15年
【設計上の標準使用期間】を越えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

■標準使用条件 JIS C 9921-2

電 圧	単相100V	定格電圧による
周 波 数	50Hzおよび60Hz	定格周波数による
温 度	20℃	JIS C 9603から引用
湿 度	65%	
設置条件	標準設置	設計説明書による

■負荷条件

想定時間	1年間の使用時間	換気時間*
		2410時間/年
		2193時間/年
		2614時間/年
		1671時間/年

注*) 24時間換気の場合は、8760時間/年とする。

愛情点検 ☆長年ご使用の換気扇の点検を!

ご使用の際
このようなことは
ありませんか。

- スイッチを入れても羽根が回転しない。
- 運転中に異常音や振動がする。
- 回転が遅いまたは不規則。(モーターはメンテナンスが必要な部品です)
- こげ臭いにおいがする。
- 本体付部に腐食、破損などがある。

使用
中止

故障や事故防止のため、
電源を切って必ず販売店に
ご連絡ください。
点検、修理に要する費用は
販売店にご相談ください。

お客様メモ	形 名	お買上げ年月日	年 月 日	この製品には地球環境保護の一環として再資源化ができるように主なプラスチック部品に材質名を表示しています。 (材質名は主材料にISO規定の略号を使用。)
サービスを依頼されるとき便利です。	お買上げ店名 (住 所) (電話番号)	()	()	

三菱電機株式会社

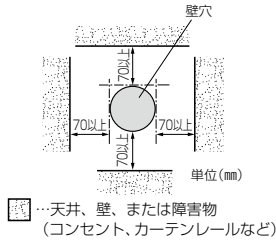
中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

4.据付方法

1 据付前の準備

壁据付けの場合（壁穴への接続パイプの固定）

- 据付場所を決めて壁穴をあける。
 - 右図の壁穴位置をご確認ください。
 - 接続パイプには塩化ビニル管の薄肉（VU）と厚肉（VP）管および鋼板管があります。壁厚に応じて長さを決めてください。
 - 必ず床面より1800mm以上のメンテナンス可能な位置に据付けてください。



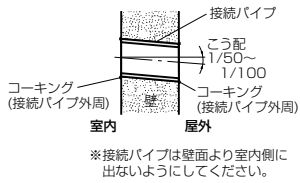
お願い

- 据付位置は右上図の位置になるようにしてください。右上図の寸法より小さくなりますと製品が据付けられない場合やメンテナンスができなくなる場合、運転スイッチの切替えができなくなる場合があります。
- 吹き抜けなどの高い位置には据付けしないでください。（検知不良の原因となります）

2. 壁穴に接続パイプを確実に固定する。

接続パイプと壁のすき間はコーキング処理を施します。

- 電源電線を室内に引き込んでから（電気工事参照）行ってください。
- 固定が不十分ですと振動したり異常音が発生する原因になります。
- 室内への水浸入を防ぐため、接続パイプは室内壁面まで差し込みます。

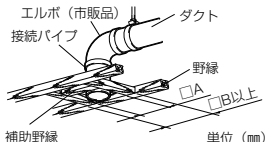


お願い

- 接続パイプは雨水の浸入を防ぐため屋外側に下りこう配をつけ、固定してください。

天井据付けの場合（野縁工事とダクト工事）

1. 下図のように野縁工事をし、ダクト工事をする。



タイプ	A	B
V-08タイプ	120	180
V-12タイプ	170	230

お願い

- 接続パイプが壁から右上図の位置になるようダクト工事を行ってください。右上図の寸法より小さくなりますと製品が据付けられない場合やメンテナンスできない場合、運転スイッチの切替えができなくなる場合があります。

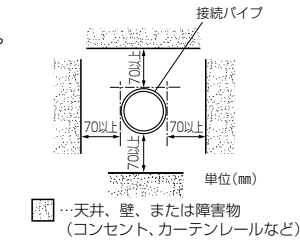
2. ダクトの中心から天井板まで185mm以上離して天井板を張る。

3. エルボと天井板の間は接続パイプを接続する。

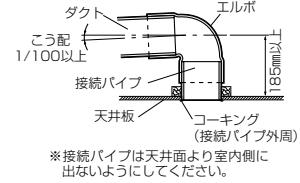
4. 接続パイプと天井のすき間はコーキング処理を施す。

お願い

- ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外側に1/100以上の下りこう配をつけてください。
- 天井板に強度がないときは補強材を入れてください。



天井、壁、または障害物（コンセント、カーテンレールなど）



天井板、エルボ、接続パイプ、コーキング（接続パイプ外周）

2 電気工事

電源電線の接続・電気工事などは、必ず専門の工事店へご相談ください。

- 市販のスイッチを使用される場合は適切なスイッチを選定して結線してください。
- 当社製以外の電子式スイッチ（半導体制御による速調スイッチ・タイマー等）をご使用の場合は組合せ上、不具合が発生するおそれがありますのでご使用の際はあらかじめご確認ください。

警告

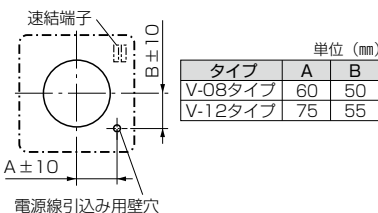
- 交流100Vを使用する直流や交流100V以外を使用すると感電の原因。

注意

- 電気工事は電気工事士の方が「電気設備に関する技術基準を定める省令（及び同解説）」及び「内線規程」に従って安全・確実に行う。接続不良や誤った電気工事は、火災・感電の原因。
- 電気工事は電気工事店に依頼する感電の原因。

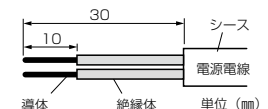
1. 電源電線を右図の位置から室内に引き込む。

- 電源電線はVVFφ1.6またはφ2.0 2芯をご使用ください。



2. 電源電線の先端を右図に合わせて皮むきする。

- 端子部への水の浸入・ほこりの侵入を防ぐため皮むき寸法を必ず守ってください。



3 本体の据付け（壁据付け・天井据付けともに同様の据付けかたです）

1. 本体からグリルをはずす。

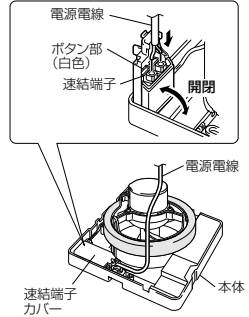
2. 結線をする。

（電気工事は電気工事士の方が実施してください）

- ① 速結端子カバーを右図のように開ける。
- ② 電源電線を速結端子に差し込む。
- ③ 速結端子カバーを元通り閉じ確実に固定する。

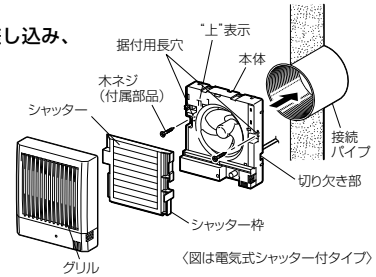
お願い

- 電源電線は確実に速結端子に差し込みます。速結端子より導体が出ないようにしてください。
- 電源電線を軽く引いて速結端子に確実に固定されていることを確認してください。
- 電源電線をかみ込まないように本体面に密着させて配線してください。
- 電源電線を速結端子よりはずす場合は、ボタン部（白色）を押しながら電源電線を引き抜いてください。



3. 本体の上下を確認して接続パイプに差し込み、付属の木ネジ2本で本体を固定する。

- 本体の刻印「上」を上側にして据付けてください。
- 左右の据付用長穴をご使用ください。必要に応じて上下部ネジ穴（V-12タイプのみ）をご使用ください。
- 石膏ボードに据付けの場合は、市販の石膏ボード用アンカーを必ず使用してください。



お願い

- インバクトドライバーは使用しないでください。本体の固定部分が破損するおそれがあります。
- 本体を接続パイプに差し込むとき、シャッター中央部（電気式シャッター付タイプ）に力を加えないでください。（シャッター開閉不良の原因になります）

4. 以上の据付けが終了した後、本体とシャッター枠が確実に据付けられているか確認する。

5. 試運転

1. センサーの検知を確認する。

- 運転スイッチを「自動」にし、感度調整つまみを操作して、下記のことを確認してください。

湿度センサー・温度センサー付

(1) 感度調整つまみを左側へ回す

停止タイプ	24時間換気タイプ
・シャッターが開き、運転を開始	・強運転
・運転ランプ（赤）は点灯	・運転ランプ（赤）は点灯

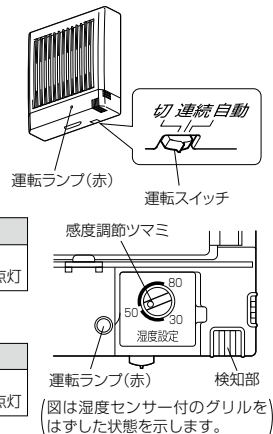
(2) 感度調整つまみを右側へ回す

停止タイプ	24時間換気タイプ
・シャッターが閉じ、運転を停止	・弱運転
・運転ランプ（赤）は消灯	・運転ランプ（赤）は点灯

(3) 感度調整つまみを50%RH、または20℃に合わせる

※下記条件の場合は自動運転または停止（弱運転）しません。

センサー	運転（強運転）しない条件	停止（弱運転）しない条件
湿度	周囲湿度が30%RH（低）未満（目安）	周囲湿度が80%RH（高）以上（目安）
温度	周囲温度が5℃未満	周囲温度が40℃以上（使用しないでください）



雑ガスセンサー付

雑ガスセンサー付は検知部に息を吹きかけるなどして、裏面の4.使用方法 ■動作シーケンスどおりに運転することを確認してください。

※雑ガスセンサー付の強制運転について
運転スイッチが「自動」の場合、電源の投入後は5分間強制運転を行います。（運転ランプはゆっくり点滅（1秒間隔）します）

※雑ガスセンサーで検知する/検知しないガスの種類について
表面（取扱説明書）の4.使用方法 ■動作シーケンスを参照ください。

2. グリルを本体に据付ける。

- 試運転終了後、グリルは方向を確認し本体に据付けてください。